

事業スケジュールについて

第3回事業推進会議の振り返り等

令和6年5月23日

第3回事業推進会議当日の主な意見

○スケジュールでは**具体的な事業計画の検証(準組から本組)**が約1年となっているが、このあたりは、**もっと時間をかけ、検証する必要がある。**

令和6年5月21日～6月4日

事業アドバイザー4者に今後のスケジュールを示し、ヒアリングを実施

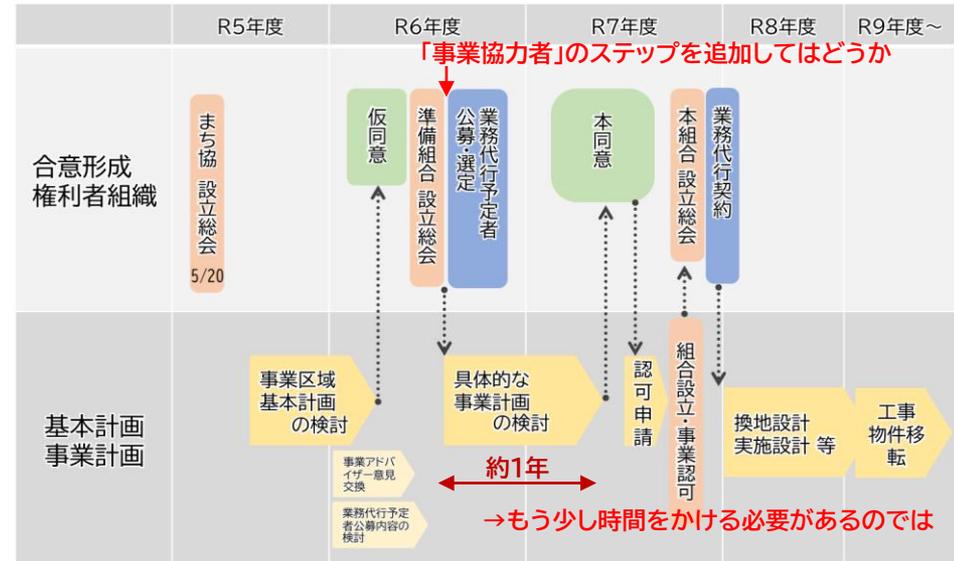
主な意見

○事業アドバイザーを1社に絞るにあたり、**事業協力者から業務代行予定者に段階を踏んだ方がよいと思う。**業務代行予定者は再度公募でも問題ない。

○事業認可へは市作成の基本計画の熟度次第だが、**今のスケジュールより、プラス1年ほどかかる**と考えられる。

○業務代行予定者ではなく事業協力者となれば、手を挙げるハードルが下がる。

学研高山地区南エリア



南エリア 公民連携による事業推進について

事業手法 : 業務代行方式による組合施行の土地区画整理事業
業務代行方式 : 民間事業者の資金力・事業ノウハウの活用し、民間事業者が土地区画整理組合を代行し、主体的に面整備（道路、宅地等の一体整備）などの事業を行うこと



●事業アドバイザー

地権者組織の設立、地権者の合意、基本計画作成など土地区画整理事業の実現に向けたアドバイスを行う。

・事業アドバイザー4者

●事業協力者

地権者組織が実施する事業計画素案の作成や地権者の合意形成などに対し協力する。

・事業アドバイザーから1者を選定予定

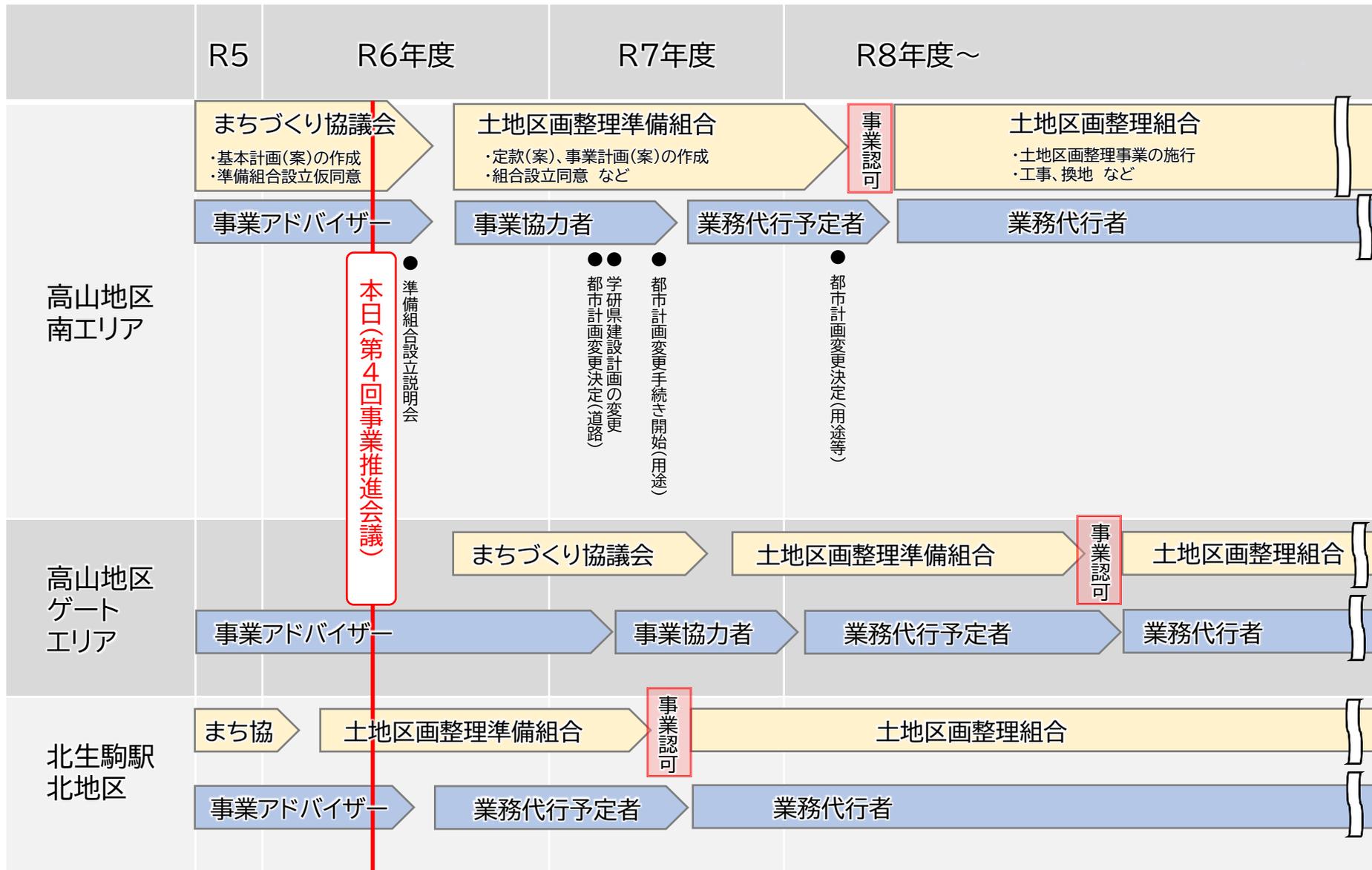
●業務代行予定者

業務代行者へ移行を基本に業務費用の立替など一定の事業リスクを負いつつ、準備組合の支援者として事業計画案などをとりまとめ本組合設立・認可を行う。

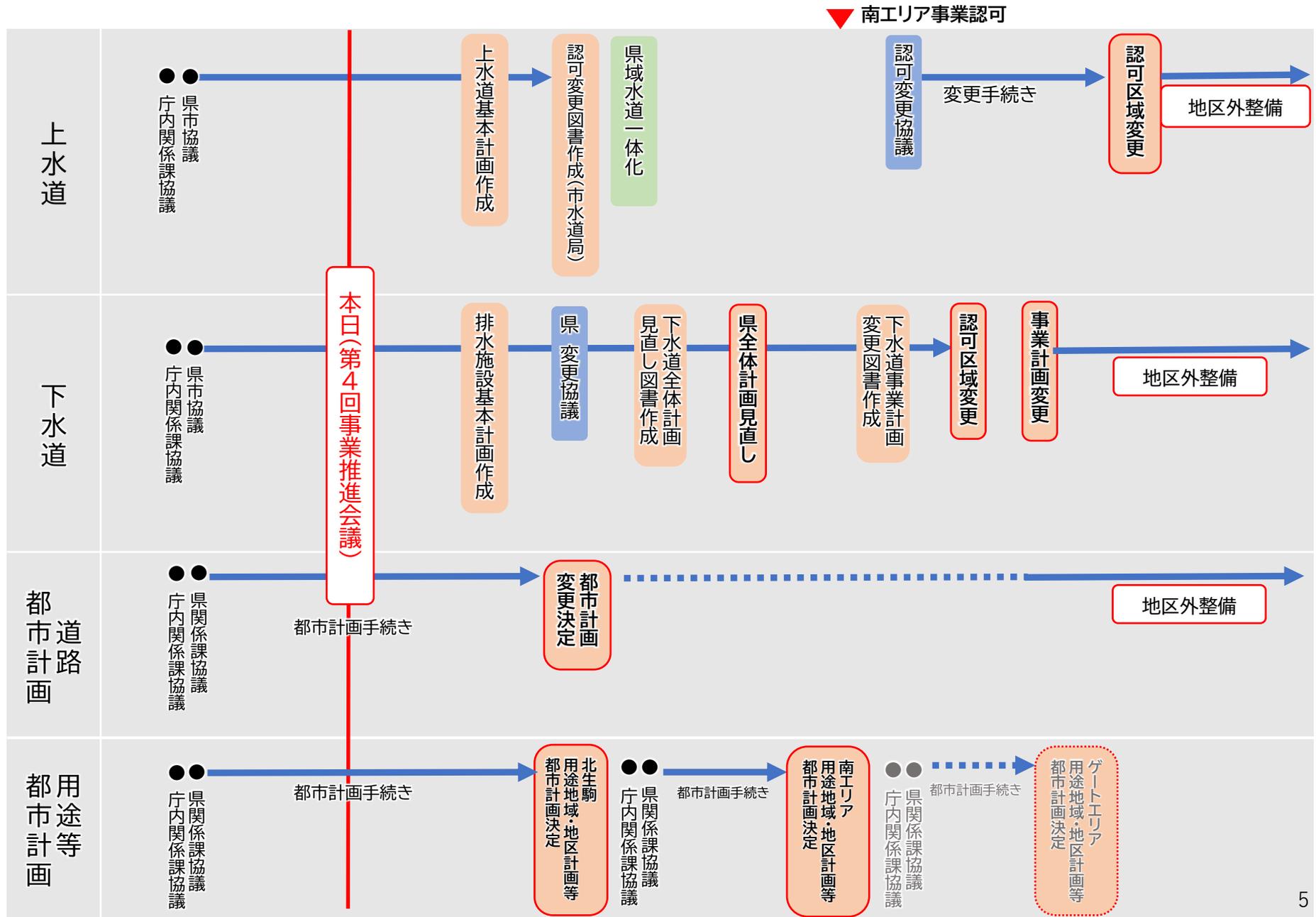
・公募選定を予定

⇒今回、事業協力者1者を選定し、事業計画等の具体的検討を着実にを行うこととした

事業スケジュール(目標)



今後の各種協議・手続き



(参考)各個別エリアについて

